

## アソカ講話067

### テーマ「許すこと」

今年の理事長講話にあった「許す」ということについて述べてみたい。人は人を許すことで自分自身が救われる。許せないと思っている間は、人は幸せになれない。なぜなら許せないと言う思いは、自分自身の心をまず壊し、徐々に体をむしばんでいくからである。許すことである。あなた自身もどれほど今まで許されてきたことか、あなたが許されて今生きているように、あなたが許せないと思っている人を許すことである。誰も皆、誰かを許せないと思いつけていいほど、自分が立派ではあるまい。自らも許されたのなら、その誰かも許そう。

許すことで自らの心がゆるみ、痛んだ心が修復されてくる。夫婦関係や人間関係の修復を難しくしているのは、相手を許せない心である。そしてもし自分を許せない人がいたら、迷わず、自分を許すことである。自分で自分を苦しめることほど愚かなことはない。自分を許すためにはどうしたらいいか？ 斎藤一人さんはこう述べている「自分を許しますと言えばいい」と。

自分を許そう。人を許そう。人は皆愛されてこの世に誕生し、幸せになるために生きているのだから。